

平成26事業年度

決 算 報 告 書

自：平成26年 4月 1日

至：平成27年 3月31日

国立大学法人 琉球大学

## 平成26年度 決算報告書

国立大学法人琉球大学

(単位:百万円)

| 区 分                 | 予 算 額  | 決 算 額  | 差 額<br>(決算-予算) | 備 考   |
|---------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 収入                  |        |        |                |       |
| 運営費交付金              | 12,059 | 12,259 | 199            | (注1)  |
| うち補正予算による追加         | -      | -      | -              |       |
| 施設整備費補助金            | 818    | 840    | 22             | (注2)  |
| うち補正予算による追加         | -      | -      | -              |       |
| 船舶建造費補助金            | -      | -      | -              |       |
| 施設整備資金貸付金償還時補助金     | -      | -      | -              |       |
| 補助金等収入              | 296    | 575    | 279            | (注3)  |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 71     | 71     | -              |       |
| 自己収入                | 19,607 | 20,666 | 1,059          |       |
| 授業料、入学料及び検定料収入      | 4,215  | 4,247  | 32             | (注4)  |
| 附属病院収入              | 15,170 | 16,036 | 866            | (注5)  |
| 財産処分収入              | -      | -      | -              |       |
| 雑収入                 | 221    | 382    | 160            | (注6)  |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等   | 1,725  | 2,008  | 283            | (注7)  |
| 引当金取崩               | 10     | 11     | -              |       |
| 長期借入金               | 302    | 255    | -46            | (注8)  |
| 貸付回収金               | -      | -      | -              |       |
| 承継剰余金               | -      | -      | -              |       |
| 旧法人承継積立金            | -      | -      | -              |       |
| 前中期目標期間繰越積立金取崩      | -      | -      | -              |       |
| 目的積立金取崩             | -      | -      | -              |       |
| 計                   | 34,891 | 36,688 | 1,796          |       |
| 支出                  |        |        |                |       |
| 業務費                 | 30,725 | 32,548 | 1,822          |       |
| 教育研究経費              | 16,475 | 16,647 | 172            | (注9)  |
| うち設備災害復旧事業          | -      | -      | -              |       |
| 診療経費                | 14,250 | 15,900 | 1,650          | (注10) |
| うち設備災害復旧事業          | -      | -      | -              |       |
| 一般管理費               | -      | -      | -              |       |
| 施設整備費               | 1,191  | 1,166  | -24            | (注11) |
| うち設備災害復旧事業          | -      | -      | -              |       |
| 船舶建造費               | -      | -      | -              |       |
| 補助金等                | 296    | 574    | 277            | (注12) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等  | 1,725  | 2,088  | 362            | (注13) |
| 貸付金                 | -      | -      | -              |       |
| 長期借入金償還金            | 952    | 948    | -3             | (注14) |
| 国立大学財務・経営センター施設費納付金 | -      | -      | -              |       |
| 計                   | 34,891 | 37,326 | 2,434          |       |
| 収入-支出               | -      | -638   | -638           |       |

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 当初内示額に含まない特別運営費交付金として「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠や授業料免除等実施分に係る教育改善推進枠の実施により予算額に比して決算額が199百万円多額となっております。
- (注2) 当初予定していた(上原)ライフライン再生(電気設備)、(医病)基幹・環境設備(特高受変電設備等)にかかる当期交付額が13百万円減額となる一方で、予算段階では予定していなかった(千原他)災害復旧事業にかかる当期交付額35百万円が交付されたことにより、予算額に比して決算額が22百万円多額となっております。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めた結果、予算額に比して決算額が279百万円多額となっております。
- (注4) 休学者の減少により授業料収入が予算額に比して決算額が33百万円増加となっております。また、学部入学者数の増加により入学料収入が予算額に比して決算額が7百万円増加となっております。一方で、学部、大学院及び特別編入受験者の減少により検定料収入が予算額に比して決算額が9百万円減少となっております。よって、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。
- (注5) 手術件数の増加、PET診断件数の増加等により予算額に比して決算額が866百万円多額となっております。
- (注6) 予算段階では予定していなかった建物等の財産貸付料、科研費間接経費の受入額の増加により、予算額に比して決算額が160百万円多額となっております。
- (注7) 外部資金の獲得に努めたことにより産学連携等研究収入は、予算額に比して決算額が296百万円増加となっております。一方で寄附金収入については、予算額に比して決算額が13百万円減少となっております。よって、予算額に比して決算額が283百万円多額となっております。
- (注8) 基幹・環境整備事業(特高受変電設備等)における落札率の低下により予算額より契約金額が下回ったため、借入額が予算額に比して46百万円少額となっております。
- (注9) 給与改定臨時特例法による減額分の回復、人事院による給与勧告に伴う常勤・非常勤教員にかかる教員人件費の増加や退職手当の対象人数は減ったものの、勤続年数などの関係から金額が増加したことにより、予算額に比して決算額が172百万円多額となっております。
- (注10) 救急部増築工事関連により支出が増加したこと、消費税の増税による影響で注射薬など高額な経費による支出が増加したこと及び退職給付費用引当金に関して今年度より従来の簡便法から原則法へ移行したことに伴い、支出が増加したことにより予算額に比して決算額が1,650百万円多額となっております。
- (注11) 今期借入額減少により支出においても予算額に比して決算額が46百万円少額となっております。一方で施設整備費補助金にかかる収入増加により支出が予算額に比して決算額が22百万円多額となっております。よって、予算額に比して決算額が24百万円少額となっております。
- (注12) (注3)に記載のとおり収入が予算額より多額となったことによる見合の支出が増加したことにより予算額に比して決算額が277百万円多額となっております。
- (注13) (注7)に記載の理由により受入額が増加したことに伴う支出増及び繰り越した寄附金による支出の増により予算額に比して決算額が362百万円多額となっております。
- (注14) 償還利率の見直しにより、予算額に比して決算額が3百万円少額となっております。